

会議名	令和4年度 第2回 芦屋町観光基本構想推進委員会			会場	芦屋町役場 3階31会議室	
日時	令和4年11月4日(金) 10:00~11:30					
件名・議題	1) あいさつ 2) 議事 ①第1期芦屋町観光基本構想評価について ②第2期芦屋町観光基本構想(素案)について ③今後のスケジュールについて					
委員の出欠	会長	大方 優子	出	委員	高岡 伸彦	出
	副会長	貝掛 祥広	出	委員	本石 美香	欠
	委員	中西 一美	出	委員	中野 功明	出
	委員	中西 隆雄	出	委員	新郷 英弘	出
合意・ 決定事項	・「第1期芦屋町観光基本構想評価」について承認 ・現時点版の内容について、委員の意見を踏まえた修正を行う。 ・会議後、追加で意見があれば受け付けることとする。					

■令和4年度 第2回 芦屋町観光基本構想推進委員会 議事録

① 第1期芦屋町観光基本構想評価について

(事務局)

- ・ 第1期評価は10年間のうち直近4か年のみを対象としている。
- ・ 長期にわたり評価不実施が常態化していたので、第2期については毎年度の推進委員会における評価を実施し事業へ反映するようにしたい。

(会長)

- ・ 質問が無いようなので、「第1期芦屋町観光基本構想評価」について承認してよろしいか。

(委員)

- ・ 承認

② 第2期芦屋町観光基本構想（素案）について

(会長)

- ・ ワークショップについて簡単な報告と、ワークショップを踏まえて生まれたリーディングプロジェクトについてご報告を願いたい。

(事務局)

- ・ ワークショップは第2期の取り組みの方向性を検討する場として2回開催した。また、現状課題からの出発ではなく、勉強会を同時開催し今後求められる知見をインプットした上でグループワークでの検討を行った。第1回ではSDGsカードゲームを用いた経済・社会・環境の持続可能な成長と観光との結びつきについて学び、第2回は地域内連携について近隣の実践事例を学ぶため、むなかたアートコレクションのコーディネーターを迎えた講義を開催した。
- ・ 第2回ワークショップの検討成果である今後の取り組みアイデアをもとに、直近3か年で取り組むリーディングプロジェクトを整理している。

(委員)

- ・ 芦屋釜の里等でも電子マネー導入の検討を進めている。庁内での取り組みも連携しながら進めていけるよう、情報共有していきたいが、電子マネーの導入は検討しているか。
- ・ 観光動向の把握について。今後、芦屋港の来訪客をどう回遊させていくかが課題である。芦屋釜の里もリニューアルに伴い来訪者が増えると想定している。回遊を正確に把握できるようにしたいが、具体策はあるか。

(事務局)

- ・ 現時点では、町内施設での電子マネー導入の予定はない。検討の結果、券売機での対応の方が早いということとなった。
- ・ 町内回遊状況の把握について。今は砂像展で回遊状況をチケットで把握するなど、アナログな方法でしかやっていない。やり方は改善したいので、関係者で検討する場を設けたい。

(会長)

- ・ DXは今後5年間で状況が変わってくると思うので、現時点の実施内容が明確でないのであれば、あらゆる可能性が考えられる書き方がいいのでは。

(副会長)

- ・ 観光消費の増加が第一、というところに色々な考え方が収束していると思う。
- ・ 質問が3つある。
 - ①目標数値が1,000円アップとなっているが、何によって1,000円アップを目指していくのか。
 - ②芦屋港のレジャー港化とはどのようなことをする予定か。
 - ③若者の取り込みが重要である。SNSの良いところは、口コミとして信頼性が高く、費用が殆どかからない点である。北九州のネジチョコのように、SNSで広まったような使い方ができるとよいが、SNSの活用について考えはあるか。

(事務局)

- ・ ①について。令和3年度アンケート調査では全体の消費額は聞いたものの、何に消費したかは把握できていない。今後、アンケート調査をみて見直しを図っていきたい。
- ・ ②について。屋内の砂像展展示、飲食店、広場の併設、釣り場などを予定している。
- ・ ③について。コロナ禍以降初開催ということで、砂像展のSNSでの投稿量が多い。テレビだけでなくSNSで見て来る人がかなり増えている。SNSは詳しい人材を集めてチームを組成し、砂像展や花火大会など各イベントに沿った訴求方法で発信に取り組んでいきたい。

(会長)

- ・ SNSに関する取り組みはもう少し書き込んでもよいのではないかと。
- ・ 基本理念と基本方針のつながりが弱い印象がある。一般的な観光キャッチフレーズではない独自性が活かされるよう、表現を工夫するとよいのではないかと。
- ・ 計画の中に施策担当課の記載はするのか。

(事務局)

- ・ 担当課については、評価の中で記載していくことを考えている。

(委員)

- ・ あしや砂像展の創生期から携わっている。今年は初めての来訪者が体感で8割にのぼるが、砂像の作り方など背景を説明できる人がいない。説明するとより関心を持ってもらえる実感がある。観光ボランティアの確保により、あしや砂像展のリピーターを増やしたい。
- ・ 町の中心部に駐車場がないため、寺社仏閣や店舗を巡りたい人がいるのにできていない。中心部に留まることを重視すると、回遊性向上にもつながるのではないかと。

(会長)

- ・ 回遊性やガイドを含めた情報提供は、価値を伝える部分についてくると思うので、強調しても良いのではないかと。

③ 今後のスケジュールについて

(事務局)

- ・ 現時点版は完成ではなく、本日の議論を踏まえて修正を行う。修正版は郵送で送るので、意見をいただき、庁内で諮るようにする。

④ その他

(事務局)

- ・ 12月初めに次の推進委員会の実施を予定している。後日、日程調整を行う。
- ・ 報酬・費用弁償については指定口座に振り込む。

以上